

2026年度健保組合予算早期集計結果 7割超の組合が赤字、全体での経常収支差引額は▲2,890億円

健康保険組合連合会が公表した2026年度健保組合予算早期集計結果によると、経常収支が赤字予算編成となった健保組合が全体の7割超にのぼることがわかりました。

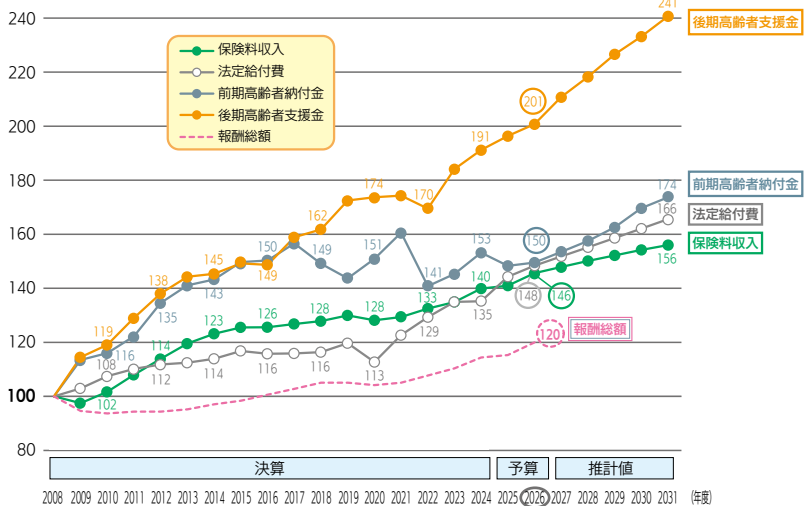
■平均保険料率が下がるも、将来的な料率上昇は避けられない

健保組合全体の経常収入は9兆7,636億円(前年度予算比+4.0%)、経常支出は10兆526億円(同+2.9%)となり、経常収支差引額は▲2,890億円の赤字となる見通しです。赤字組合は1,010組合(計▲3,816億円)、黒字組合は354組合(計926億円)となりました。

2026年度は、子ども・子育て支援金の徴収開始などを受け、202組合が保険料率を引き下げ、平均保険料率は9.32%となりました。一方、料率を引き上げた組合は101組合、料率9.9%以上の組合は全体の約3割を占めています。

今後、物価・賃金の上昇を反映した診療報酬改定等の影響により医療費の増加が見込まれ、現役世代の減少によって被保険者1人当たりが負担する高齢者拠出金も増加していく見込みです。報酬総額の伸びを超える水準で拠出金や医療費が伸びていくため、将来的な保険料率引き上げは避けられません。中長期的な視点に立った高齢者医療費の負担のあり方そのものを見直していくことが必要です。

被保険者1人当たり金額の推移 (2008年度を100とした指数)



※2027年度以降は、加入者数および保険料率を固定(2026年度予算早期集計時点)した推計値(粗試算)。
1人当たりの標準報酬と医療費の伸び率は、経済成長(過去投影ケース)を反映して上昇すると見込んでいる。
※経済成長率の反映は「2040年を見据えた社会保障の将来見直し(議論の素材)」(内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省2018年5月)に倣っている。経済成長(過去投影ケース)は、「中長期の経済財政に関する試算」(2026年1月22日経済財政諮問会議:内閣府提出資料)による。

インフルエンザ予防接種補助金申請受付開始

9月1日から

■補助対象接種期間 2026年9月1日(火)～2027年1月31日(日)

■申請は、簡単・便利なWeb申請(iKEN Web)をご利用ください

IBM健保ホームページ  のバナーから。

■2026年度から所定の用紙による補助金申請は廃止しました(感染症対策予防接種申請を含む)

ペーパーレス化、業務効率化のためご理解とご協力をお願いします。

好評 歯ぐきの元気度を知る!

～郵送歯周病検査のご案内～

今年度の対象者は41歳以上の被扶養者です(特例退職被扶養者を除く)。

対象者には9月下旬に申込案内をご自宅へ郵送します。
3年に一度の機会をお見逃しなく!

申込締切

10月16日(金)

参加者には
当健保歯科医師推奨の
ケアグッズをプレゼント

もれなく
プレゼント!



●「My Health」へのご意見・お問い合わせは、当健保組合ホームページの「Webでのお問い合わせ」まで

